

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

AI×セキュリティで新しい価値を創り、安心安全な空間とスマートな社会を実現する

② 中長期の経営戦略

1. 販売パートナー拡大戦略

既存パートナーの深掘と新規開拓により顧客接点を拡大。トレーニング・共同開発で関係強化

2. ソリューション力強化

セキュリティニーズの的確な把握と営業提案手法の最適化で競争優位性を維持

3. AI実装力強化

画像認識技術の実装力を強化し、商品機能を拡充。高度化するニーズに対応

4. スtock型サービス強化

クラウド型「SECURE AI Office Base」など、ストック収益基盤を拡充

③ 対処すべき課題

① 研究開発の高度化

- ・ AI・機械学習技術の急速進展に対応した画像関連技術の継続的改良と実用化
- ・ クラウドサービス拡充に向けた積極的な研究開発体制の構築
- ・ Security System Labなどでの価値向上とストック型サービス強化

② 営業活動の競争力維持

- ・ 激化する競争環境で継続的に競争優位性のあるシステムを提案
- ・ オフィス・商業施設・工場の基盤技術をデータセンター・ホテル・マンションに展開
- ・ 韓国子会社を拠点とした海外セキュリティニーズへの対応

③ 内部管理・人材体制の整備

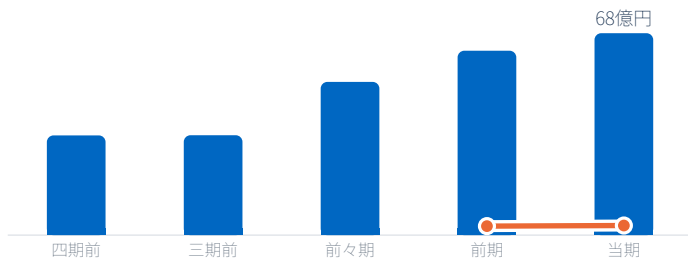
- ・ 事業拡大に対応した内部管理体制の拡充と営業アシスタント機能の強化
- ・ カスタマーサービス・物流機能の強化による業務運営の効率化
- ・ ハードウェア・ソフトウェア・セキュリティを横断的に理解できる人材の育成・確保

面接で使えるポイント

- ・ 国内セキュリティ市場は2029年に1兆2,294億円規模へ拡大予測される中で、AI×セキュリティの融合で付加価値を提供
- ・ SECURE AC・SECURE VS・SECURE Analyticsの3つのサービスでワンストップ提案を実現
- ・ 顔認証需要の拡大やDXニーズの高まりに対応し、クラウド型「SECURE AI Office Base」などストック型サー…

証券コード 4264

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

2002年設立の情報通信・サービス企業で、グロース市場に上場しています

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
68億円営業利益率
4.8%財務健康度
50点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 44.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
588万円

情報・通信業内 428位/592社

平均年齢
38.3歳

情報・通信業内 291位/593社

平均勤続
4.4年

情報・通信業内 413位/593社

女性管理職
3.0%

情報・通信業内 358位/373社

男性育休
33.3%

情報・通信業内 281位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: セキュア、累計導入社数14,000社突破！

